

# 「丸まる」と「丸める」の多義構造

——認知言語学の観点から——

李 澤 熊

## 1. はじめに

本稿の目的は、形容詞派生動詞「丸まる」と「丸める」を取り上げ、認知言語学の観点を視野に入れ、2語が持つ複数の意味を記述し、それらの複数の意味の関連性（多義構造）を明らかにすることである。

先行研究としては、辞典・辞書類の記述があげられる。まず、「丸まる」についてはいずれの辞書においても概略〈形が丸くなる〉と記されており、いわゆる単義語として扱われている。しかし、以下に示す例(1)と例(2)における「丸まる」は、明らかに異なる意味の側面を表していると考えられる。

- (1) 丸まった紙／ロープが丸まっている
- (2) 丸まった刃先／机の角が丸まっている。

以上の例は、〈形が丸くなる（曲線状になる）〉という点では確かに同じであるが、例(1)はいわゆる「円の形になる」ことを表しているのに対して、例(2)は「(角がなくなった) ならかな状態になる」ことを表していると考えられる。以上を踏まえて、本稿では「丸まる」を多義語としてとらえて分析を行う<sup>1)</sup>。

一方、「丸める」については、辞書の記述においても多義語として扱われているが、次の例のように、「丸める」は「感情」「気持ち」「考え」など、いわゆる心情を表す語と共起して用いられる場合があるが、先行研究では言及されていない。これは比較的新奇な表現であるが、実例も一定数見られており、言語共同体において定着しつつある意味用法であると考えられるため、本稿では「丸める」の複数の意味の一つ（別義）として認めて分析する。

- (3) 一段上の目線から今感じている感情を再定義してみてください。  
イメージの中で不要な感情を丸めてポイっと捨てる感じでも大丈夫です。  
とにかく一旦その感情から離れて、必要な分だけ感じるということを心掛けてください。  
(<https://kotonoha.earth/2021/05/18/>)

以上を踏まえて、本稿では「丸まる」と「丸める」を多義語としてとらえ、形容詞「丸い」との関連性を指摘しながら、その意味用法の全貌を明らかにする。

具体的な考察に入る前に、まず、1.1では、多義語の基本的な性質、多義語の位置付けについて先行研究を踏まえて概観する。続いて、1.2では、多義語分析の課題とその解決のために採用する概念について、先行研究に基づき簡略に説明する。

### 1.1. 多義語の位置付け<sup>2)</sup>

国広（1982）は、多義語と同音異義語について、次のように定義している。

「多義語」(polysemic word) とは、同一の音形に、意味的に何らかの関連を持つふたつ以上の意味が結び付いている語を言う。(国広 1982: 97)

「同音異義語」とは、同一の音形に、意味的に関連を持たないふたつ以上の意味が存在する場合に生じるふたつ以上の語のことである。(国広 1982: 97)

上記のように、国広（1982）は「多義語」と「同音異義語」を区別する基準として、意味的な関連の有無を提示しているが、これは決して明確なものではなく、「同音異義と多義の現象は、本質的に連続しているのであり、境界を定めようとするのがそもそも無理なことである」と考えるべきである」(p. 108) と述べている。さらに、具体的に観察される2つ以上の意味が、多義であるのか、単一の意義素の文脈的変容であるかの判断基準について、「ある一定の意味を想定し、それが文脈の相違に平行して少しずつ変わって現れると考えられるか否かということである」(p. 109) と述べている。このように、国広（1982）は同音異義語、多義語、単義語（単一の意義素の文脈的変容）のそれぞれの境界を明確にすることは困難であり、連続的であるという立場を取っている<sup>3)</sup>。

ところで、初山（2016, 2020, 2021）は、多義語に関する膨大な研究を詳細に検討し、多義語の多様性について次のように述べている。

ある語（音形）に（何らかの観点から）複数の意味が想定できる場合、その複数の意味がどの程度自立性（顕著性・慣習性）を有するかは、程度問題（連続的）であるという見通しが立てられる。なお、ここでの自立性の程度とは各母語話者における定着の程度および言語共同体における慣習性の程度のことである。また、複数の意味の関連性の程度も連続的であると考えられる。つまり、単義語と同音異義語を両極とし、その中間に、各意味の自立性の程度、複数の意味の関連性の程度が異なる多様な多義語が連続的に存在すると想定される。(初山 2016: 512)

単義語    単義語寄りの多義語    典型的な多義語    同音異義語寄りの多義語    同音異義語

図1 単義語・多義語・同音異義語の連続性 (靱山 2020: 130, 2021: 29)

以上のように、本稿では、多義語の定義、位置付けなどについて、基本的に上記の先行研究と同じ立場に立って、考察を進めていく。

## 1.2. 多義語分析の課題

多義語の意味分析をめぐることは、従来から様々な分析方法が提案されているが、日本語の例を中心に詳細な記述・検討がなされているものとして靱山の一連の研究があげられる<sup>4)</sup>。靱山 (2001, 2002, 2019, 2020, 2021 など) は、多義語の分析において明らかにしなければならないこと、即ち、多義語分析の課題として、少なくとも以下の 1)～4) が考えられると述べている。

- 1) 何らかの程度の自立性を有する複数の意味 (多義的別義) の認定
- 2) プロトタイプの意味の認定
- 3) 複数の意味の相互関係の明示
- 4) 複数の意味すべてを統括するモデル・枠組みの解明

本稿では、上記の課題のうち、主に 3) と 4) の課題について詳しく検討する。

まず、3) の課題について、靱山 (2001: 33) は多義語の定義から必然的に導かれるものであるとし、「多義語の複数の意味は相互に何らかの関係が認められるのであるから、個々の多義語の分析にあたり、その関連の実態を明らかにすることが課題となる」と述べている。また、「多義語の実際の分析を通して、複数の意味の間には一般にどのような種類の関連が認められるかということを一明らかにすることも重要な課題である」とし、「メタファー、シネクドキー、メトニミーという 3 種の比喩が、複数の意味の関連付けに重要な役割を果たすと考える」と述べている。以上を踏まえて、本稿では、多義語の複数の意味の関連性を比喩の観点から考察する。なお、3 種の比喩の定義・性質・種類をめぐることは諸説あるが、ここでは、靱山・深田 (2003: 76-87)、靱山 (2010: 35-52, 2020: 97-124) の記述を引用する。

メタファー (隠喩) : 2 つの事物・概念の何らかの類似性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喩。

「トンボ」: グラウンド整備の道具 (の一種) → 昆虫の「トンボ」

「故障」: (スポーツ選手) 肩の故障 → 機械の「故障」

シネクドキー（提喩）：より一般的な意味をもつ形式を用いて、より特殊な意味を表す、あるいは逆により特殊な意味をもつ形式を用いて、より一般的な意味を表す比喩。なお、より一般的な意味とは、相対的に外延が大きい（指示範囲が広い）ということであり、より特殊な意味とは、外延が小さい（指示範囲が狭い）ということである。

「花」見に行く：一般的な「花」→ サクラ（の花）

「下駄」箱：本来の「下駄」→ 履物一般

メトニミー（換喩）：2つの事物の外界における隣接性、さらに広く2つの事物・概念の思考内、概念上の関連性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表す比喩。

「空間における隣接」：黒板を消す → 「黒板」と「黒板に書かれた文字」

「時間上の隣接性」：頭を抱える → 「頭を抱える動作」と「困り果てる精神状態」

以上、3種の比喩について確認したが、これらを含む3種の比喩の定義・性質・種類をめぐっては諸説あるが、本稿では基本的に上記の定義に従って分析を行う。

次に、4)の課題について、舩山（2020: 132）は、3)をさらに発展させたものであるとし、「多義語の複数の意味の相互関係を明示することに加えて、個々の意味に共通する意味（スキーマの意味）を抽出すること、個々の意味を構成要素として含むフレームを明示すること、多義構造全体における個々の意味の位置付けを示すこと等が課題となる」と述べている。

ところで、本稿で考察する「丸まる」と「丸める」の多義構造の説明については、Langacker（1987, 1990など）が提案する「プロトタイプとスキーマに基づくネットワークモデル」と舩山（2020, 2021）が提案する「統合モデル」が有効であると考え、以下では2語の多義構造を明らかにする前提として、「スキーマティック・ネットワークモデル」（schematic-network model）と「統合モデル」について簡単に概観する。

#### 「スキーマティック・ネットワークモデル」

Langacker（1990）によると、「ネットワークモデル」は下図のように示される。

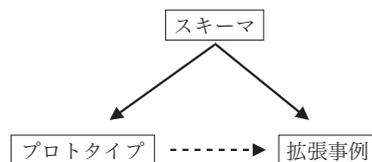


図2 Langacker（1990: 271, 図4(a)）

ネットワークにおける個々の節点（node）は、「カテゴリー化関係」（categorizing

relationships) によって関連付けられる。なお、「カテゴリー化関係」には、「スキーマ関係」(schematicity) と「拡張関係」(extension) という2つの基本的なタイプが関係している<sup>5)</sup>。

「スキーマ関係」、つまり  $[A] \longrightarrow [B]$  は、[A] が [B] に対してスキーマ的であり、[B] は [A] を詳細化したもの (elaboration) あるいは具体化したもの (instantiation) であることを表す。言い換えれば、[B] は [A] と両立する (矛盾しない) が、([B] は) [A] より詳細であることになる (従って、この関係は意味の「特殊化」(specialization) あるいは、逆に言うところ「抽象化」(abstraction) の関係となる)。

それに対して、拡張関係、つまり  $[A] \dashrightarrow [B]$  では、若干の衝突が生じる。すなわち、拡張された意味 [B] に達するには、基本的意味 [A] のある意味特徴が保留あるいは変更されなければならない。つまり、拡張関係は意味における何らかの不一致を含むことになる<sup>6)</sup>。

### 「統合モデル」

昀山 (2021) は、「統合モデル」について、次のように説明している。

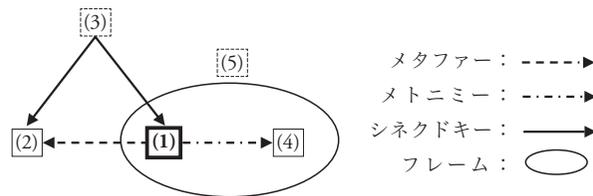


図3 統合モデル (昀山 2021: 239)

この統合モデルは、放射状ネットワークモデル<sup>7)</sup>、スキーマティック・ネットワークモデル<sup>8)</sup>、フレームに基づくモデル<sup>9)</sup>を統合したものであり、3つのモデルの優れた点はそのまま継承し、さらにこれらを統合することによって、ある多義語の複数の意味すべてを包括的に記述・統合し、多義構造を明示することができるモデルである。(中略) 図1は、ある多義語 (以下、Wとする) が以下のような性質を持つことを示している。なお、自立性が高い意味について確認すると、個々の母語話者において定着度が高く、かつ言語共同体において慣習性が高い意味のことである (昀山 2021: 239-240)。

- 1) Wは (局所的スキーマ (3) およびフレーム (5) を含めて) (1)~(5) の5つの意味を持つ。
- 2) 意味 (1) がWのプロトタイプの意味である。
- 3) 意味 (2) は、意味 (1) からメタファーに基づき拡張したものである。
- 4) 従って、意味 (1) と意味 (2) に共通する意味 (スキーマ) として意味 (3) が抽出できる。このことより、意味 (3) と意味 (1) および (2) はシネクドキーの関係である。
- 5) 意味 (4) は、意味 (1) からメトニミーに基づき拡張したものである。

- 6) 楕円は、意味(1)と意味(4)を構成要素とするフレーム(意味(5))である。
- 7) 各意味の自立性について、最も自立性の高い意味(1)は、太線の実線の四角で囲って示す。また、意味(2)と意味(4)が(意味(1)ほどではないが)相当程度の自立性を有すると仮定し、このことを実線の四角で囲って示す。さらに、意味(3)と意味(5)の自立性が意味(1)、(2)、(4)よりも劣ると仮定し、このことを点線の四角で囲って示す。
- 8) 意味(3)は、意味(1)と意味(2)という下位カテゴリーに対するスキーマであり、意味(4)および意味(5)を下位カテゴリーとするものでないから、意味(3)は、スーパースキーマではなく、局所的スキーマである。

本稿では、以上の「スキーマティック・ネットワークモデル」と「統合モデル」に基づき、「丸まる」と「丸める」の多義構造を明らかにする。

## 2. 「丸まる」と「丸める」の意味分析

### 2.1. 分析の手順

本節では、以上の多義語分析の基本的な考え方と方法を踏まえて、「丸まる」と「丸める」の意味分析の手順について述べる<sup>10)</sup>。

#### 【1】用例の収集

各コーパス、ウェブ検索エンジンなどを利用して様々なジャンルの用例を可能な限り多く収集し、使用頻度、使用領域、共起関係などを考慮してデータを整理する。

#### 【2】多義語の分析

収集した用例に基づき、各語の意味用法を試行錯誤的かつボトムアップ的に検討し、先行研究の記述が不十分な(未着手の、あるいはアップデートが必要な意味用法がある)場合は、修正・追記する。最終的に、上述した多義語の分析の手法に基づき、各語の精緻な意味記述を行う。

#### 【3】語の意味記述

本稿では、語の意味特徴及び意味に関わる特性は〈 〉で括って示す。

#### 【4】本稿で使用したコーパス及びウェブ検索エンジン

本稿で使用したコーパス及びウェブ検索エンジンは以下のとおりである。

- 1) 『現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)』 (<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>)
- 2) Google (<http://www.google.co.jp/>)
- 3) 『NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB)』 (<http://nlb.ninjal.ac.jp/>)
- 4) 『NINJAL-LWP for TWC (NLT)』 (<http://corpus.tsukuba.ac.jp/>)

5) Yahoo (<http://www.yahoo.co.jp/>)

以上の分析の手順に従い、「丸まる」と「丸める」の意味を分析した結果、以下のように下位分類することができた。

表1 「丸まる」と「丸める」の意味分類

意味分類	～が丸まる	～を丸める
【円形】	物：用紙、カーテン、カーペット、シート、ロープ、両端、掛布団、電線、靴下、粘土、団子、餅 人（の身体部位）：背中、腰、体、肩、背骨、爪、舌、身体、体勢、姿勢、手、指、指先、手のひら 動植物（の部位）：猫、犬、尻尾、蛇、虫、幹、新芽、花びら、苞、葉っぱ、管、キャベツ、つる	物：紙、新聞紙、タオル、ティッシュ、アルミホイル、テープ、紐、線、カーペット、布団、毛布、表面、両側、四隅、粘土、雪、靴下、団子、餅、ひき肉、コロケ 人（の身体部位）：背中、背、体、腰、唇、舌、指、手、身、手のひら、肩、背骨、上半身、足、膝 動植物（の部位）：葉、尾、尻尾
【角がとれた状態】	角、エッジ、縁、鉛筆（の芯）、刃、刃先	角、先端、エッジ、爪、刃先
【剃髪】	×	頭、髪、髪の毛
【出家】	×	頭
【服従】	×	人、相手、部下、夫
【端数の切り上げ】	×	数値、数字、値、端数、小数
【心情の抑え】	×	気持ち、感情、考え

## 2.2. 「丸まる」の意味

以下では、以上の分類結果を踏まえて、多義語分析の方法に基づき、様々なレベルの意味の自立性（定着度）を有する「丸まる」について、スキーマの意味を含めて、3つの意味を認定し、考察を行う。

意味1<sup>11)</sup>：【円形】〈物や身体・動植物（の部位）が〉〈円・環状・球またはそれに近い形に〉〈なる〉

- (4) (マジックハンド) 空き缶や丸まった紙くずゴミなどを拾い上げるのに便利です。滑り止めラバーとマグネットが付いており金物などもしっかりキャッチ。

(<https://shop.gardenyouhin.jp/pg-19396>)

- (5) 「よくある丸まったポスターの伸ばし方」

反対側に丸める：丸まっている逆側に丸めてフラットにしていくシンプルな方法ですね。( [https://precocirico.com/kabekake\\_syuunou/kabekakeinteria/posuta\\_marumari.html](https://precocirico.com/kabekake_syuunou/kabekakeinteria/posuta_marumari.html) )

- (6) イタリアといえば、パスタ。パスタはイタリアの国民食と言われるだけあって、本場

ではその種類も食べ方もびっくりするくらいバリエーションが豊かです。(中略) また、変わり種としては、板状の Pasta や丸まった団子状の Pasta もあります。

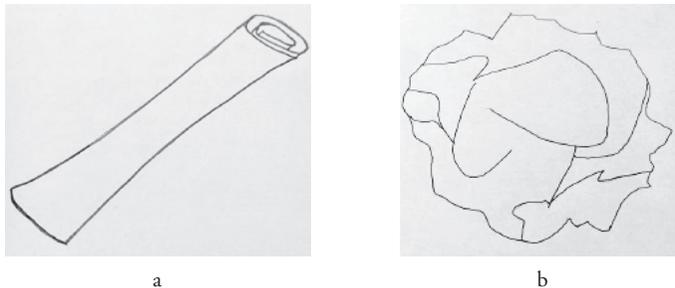
(<https://designers-fridge.com/italy-pasta/>)

- (7) 背中が丸まると、背骨や体にかかる重量(負荷)が増すため、腰痛や肩こり、頭痛、椎間板ヘルニアなどのリスクも高まるといわれています。

([https://cp.glico.com/bifix/article/2017/06/02/post\\_38.html](https://cp.glico.com/bifix/article/2017/06/02/post_38.html))

- (8) 今回はそんなトマトの葉っぱが丸まってしまう原因と対策方法について見ていきたいと思います。( [https://xn--m9jp4402bdtwxkd8n0a.net/qa/tomato\\_happa\\_marumaru](https://xn--m9jp4402bdtwxkd8n0a.net/qa/tomato_happa_marumaru) )

意味1は、物や人間(の体の部位)、動植物(の部位)が何らかの働きかけによって、円や環状、球またはそれに近い形になることを表す。例えば、「丸まった紙」といった場合、絵1aのような円形(環状形)のケースと、絵1bのような球形のケースが考えられる。また、例(7)のように、厳密に言えば円形をなさなくても、それに近い形としてとらえられる場合にも用いられる。なお、基本的に円形・球形に変化するということで、「??円盤が丸まる」「??太陽が丸まる」のように、もともと円形・球形の形をしているものについては用いにくい。



絵1 丸まった紙

意味2:【角がとれた状態】〈(一般的に)角を持つ物が〉〈(角がなくなった)なだらかな状態に〉〈なる〉

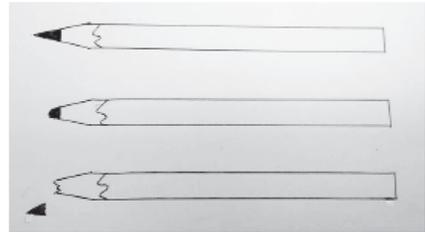
- (9) 切れ味が悪いと、熟した柔らかいトマトに刃が入らず、切れないで潰れてしまいます。また、玉ねぎの組織を潰して壊すので、涙がでます。どちらも食材を切るのではなく押し潰してしまい、刃が丸まっている証拠です。

(<https://yayuki.com/knifesharpener-whetstone/>)

- (10) 尖った鉛筆、丸まった鉛筆、折れた鉛筆。

(<https://www.ac-illustr.com/main/detail.php?id=1524200>)

意味2は、刃物や鉛筆の芯のように、(一般的に)角を持つものに対して用いられる使い方である。つまり、何らかの原因(働きかけ)によって、角がなくなって、なだらかな状態になることを表す。例えば、例(10)は、絵2の真ん中の鉛筆の芯のように、「もともと尖っていたが、使いすぎなどによって、なだらかな状態になった」というようにとらえることができる。



絵2 丸まった鉛筆(の芯)

ところで、意味2は意味1からメタファーによって意味拡張が成り立っていると考えられる。というのは、両者の間には「対象(の一部)が取り除かれるか否か」という点で意味の相違はあるが、〈ある対象が曲線状の形になる〉という点で共通の意味(スキーマ的意味)を抽出できるということである。

意味3(スキーマ的意味): 〈ある対象が曲線状の形になる〉(意味1と意味2のスキーマ)

### 2.2.1. 「丸まる」の多義構造

以上、「丸まる」について、スキーマ的意味を含めて3つの意味を認めて分析し、複数の意味間の関連性については比喩の観点からその詳細を明らかにした。以上の分析結果に基づくと、「丸まる」の多義構造は次のように示すことができる。

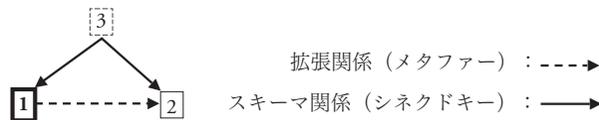


図4 「丸まる」の多義構造

以下、図4の「丸まる」の多義構造の表記について、簡略に説明をする。

- (a) 「丸まる」はスキーマ的意味(意味3)を含めて、3つの意味を持つ。
- (b) 「丸まる」のプロトタイプの意味(意味拡張の起点)は、意味1となる。
- (c) 意味1と意味2はメタファーの関係にあり、スキーマ的意味として意味3を抽出することができる。これにより、意味3と意味1、2はスキーマの関係となる。
- (d) 各意味の自立性(定着度)について
  - 1) 最も自立性の高い意味1は、太線の実線の四角で囲って示される。
  - 2) 意味2は相当程度の自立性を有しており、実線の四角で囲って示される。
  - 3) 意味3の自立性は相対的に劣っており、点線の四角で囲って示される。つまり、意味

3のスキーマ的意味は、意味1、2より定着の程度、顕著性の度合いが低いということである。

### 2.3. 「丸める」の意味

以下では、表1の分類結果を踏まえて、多義語分析の方法に基づき、様々なレベルの意味の自立性（定着度）を有する「丸める」について、スキーマ的意味・フレームを含めて、11の意味を認定し、考察を行う。

意味1<sup>12)</sup>：【円形】〈人が〉〈物や身体・動植物（の部位）を〉〈円・環状・球またはそれに近い形に〉〈する〉

- (11) ひき肉を丸める時、手のひらに油をつけておくと丸めやすい。  
(<https://park.ajinomoto.co.jp/recipe/card/220108/print/>)
- (12) AMAZENの布団収納ケースです。こんな風に布団を丸めて入れることができる円柱型の収納ケースは、立てて収納できるので省スペースにおさまります。  
(<https://roomclip.jp/mag/archives/48454>)
- (13) 反り腰に良い寝方は、「横向きで、軽く背中と膝を丸める」寝方。  
([https://tential.jp/journals/waist/warped\\_waist/007](https://tential.jp/journals/waist/warped_waist/007))
- (14) 尻尾は犬の感情を知るためには大事なポイントとなります。尻尾をブンブンと振ってあれば喜んでいることが多く、ゆらゆらと大きくゆっくりと振っている時は警戒していることが多いです。他にも、尻尾を丸めて内股の間に挟んでいる場合は恐怖を感じており、尻尾が下に垂れ下がっている時にはあまり元気がない状態となります。  
(<https://pet-info.event.rakuten.net/articles/15008948406>)

意味1は、人が物（あるいは人や動植物が自分の体（の部位））に対して、力を加えて、円や環状、球またはそれに近い形にすることを表す。2.2でも述べたように、「丸める」においても、絵1aのような円形（環状形）のケースと、絵1bのような球形のケースが考えられる。また、例(13)のように、厳密に言えば円形をなさなくても、それに近い形としてとらえられる場合にも用いられる。なお、構文的な特徴として、「団子を丸める」というように「〈結果〉を丸める（丸まったものを作る）」という形をとる場合がある。

意味2：【角がとれた状態】〈人が〉〈(一般的に) 角を持つ物を〉〈(角がなくなった) なたらかな状態に〉〈する〉

(15) 刃先を丸めることで安全に考慮した、入門用ナイフです。セーフティーロック機能を搭載しているので、折りたたんだあと刃が出ることはありません。

(<https://highmount.jp/brands/opinel/round-tip-7/>)

(16) 子どもが生まれたら、専用の椅子を買って与えたい、と思っていました。13年前、いざ探してみると、一生使えそうな子ども椅子ってあまりなかった。あっても、角を丸めたお子さま仕様でした。( [http://kurashinokoto.net/m03\\_02.html](http://kurashinokoto.net/m03_02.html) )

(17) プラ型は内型の外形線を左右対称に描くための曲線定規です。厚さ1.5mm程度の透明のエンビ板から切り抜いて作ります。外形線は側板の内側、表板の外形から3.7mm内側になります。図面を原寸コピーし、スプレー糊で貼り付け、この紙ごと切り抜いて仕上げます。外周を糸ノコで切り出し、外周面を垂直に仕上げます。角を丸めないようヤスリは周方向に動かすのがコツです。

(<http://www1.koalanet.ne.jp/wadaviolin/501uchigata.html>)

意味2は、刃物や鉛筆の芯のように、(一般的に) 角を持つものに対して用いられる使い方である。つまり、人がある物に対して力を加えて、角を取り除き、なたらかな状態にすることを表す。

ところで、意味2は意味1からメタファーによって意味拡張が成り立っていると考えられる。つまり、両者の間には「対象(の一部)を取り除くか否か」という点で意味の相違はあるが、〈人がある対象を曲線状の形にする〉という点で共通の意味(スキーマ的意味)を抽出できるということである。

意味3 (スキーマ的意味)：〈人がある対象を曲線状の形にする〉(意味1と意味2のスキーマ)

意味4：【剃髪】〈人が〉〈頭髪を〉〈剃り落とす〉

(18) 男性の場合、大きな失敗をしたときに、髪を丸めて坊主頭になる方がいらっしやいます。原点に立ち返るといふ気持ちを坊主頭に込めるのでしょうか。このように髪型は深層心理と繋がっているのかもしれませんが。

(<https://www.my-nature.jp/content/other/4801>)

意味1は、人が物などに対して物理的な力を加えることによって、円形状にすることを表

すのに対して、意味4は「髪を剃り落とす」ということを表す<sup>13)</sup>。ただし、いずれも「人がある対象を円形状の形にする」という点では共通している。つまり、粘土や団子などを丸めた時の形(意味1)と髪を剃り落とした時の頭の形(意味4)が類似しているということである。よって、意味4は意味1からメタファーによって意味拡張が起きていると考えられる。

意味5 (スキーマ的意味) : 〈人がある対象を円形状の形にする〉(意味1と意味4のスキーマ)

意味6 : 【出家】〈人が〉〈僧侶となる〉

(19) その私は卒論の追い込みも慌ただしくなりつつある4回生の秋、突如(本当に突如、である)、頭を丸める決心をした。(中略)しかし、今になって思えば、まかり間違つて上座部仏教の門を叩いていたならば、それはそれで更なる自己矛盾に打ちのめされていたかも知れない。(https://namoamidabutsu18.blog.fc2.com/blog-entry-47.html)

意味6は、「僧侶になる(出家する)」ことを表す。坊主頭という表現からも分かるように、一般的に「僧侶は頭髪を剃り落としている場合が多い」ことから起因していると考えられる。なお、この意味6は意味4とメトニミーの関係によって意味拡張が成り立っていると考えられる。つまり、(僧侶になる準備をするために)「頭髪を剃り落とす」という手段を表す表現を用いて、「僧侶になる」という目的の意味を表しているということである(時間上の隣接性(前後関係)・手段と目的の関係)。

ところで、意味4と意味6は「出家」というフレーム内に位置付けることができる。ある人が出家する際に、そのプロセスの中には様々な要素が考えられるが、フレームの観点から見た場合、その構成要素はスキーマ化、構造化されていると考えられ、「頭髪を剃り落とす(=頭を丸める)→「僧侶になる」という構成要素を持つプロセスを想定することができる。つまり、これらの意味は、フレーム内において注目する構成要素が異なるということになる(焦点化の違い)。

意味7 : 〈人が頭髪を剃り落とし(円形状にし)、僧侶となる〉(意味4、意味6を構成要素とする「出家」のフレーム)

意味8 : 【服従】〈人が〉〈他人に対して〉〈言葉を巧みに使い〉〈自分の思う通りに〉〈する〉

(20) 1幕2場の④「へそくりソング」は江戸川沿いの料理旅館での2回目の作戦中の妻たちと夫たちによる掛け合いの歌で、玉乃&民代が「へそくりは女の才覚」と歌えば作

造&信次が「男を丸めてせっせとためてゆく」と返す。

(<https://core.ac.uk/download/pdf/250588773.pdf>)

- (21) 総務や人事は法的トラブルなどの窓口役も担うため、言葉で相手を丸める口先はプロ級です。( [https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/) )

意味1は、人が物などに対して物理的な力を加えることによって、円の形にすることを表すのに対して、意味8は、人が他の人に対して言葉という抽象的な力を加えて、相手を自分の思う通りにすることを表す。なお、意味8は意味1からメタファーによって意味拡張が起きていると考えられる(詳細は後述)。

意味9:【端数の切り上げ】〈人が〉〈端数を〉〈切り上げ・切り捨て・四捨五入して〉〈扱いやすい数字に〉〈する〉

- (22) エクセルには四捨五入や切り上げ、切り捨てといった端数を丸めるための関数が用意されています。( [https://www.nikkei.com/article/DGXNASFK1601J\\_W2A110C1000000/](https://www.nikkei.com/article/DGXNASFK1601J_W2A110C1000000/) )

- (23) 引数に指定した数値について小数点以下を切り上げる形で、整数に丸めます。  
( <https://auto-worker.com/blog/?p=6011> )

意味1は、人が物などに対して物理的な力を加えることによって、円の形にすることを表すのに対して、意味9は、人が数字(端数)に対して何らかの操作をして(つまり、抽象的な力を加えて)、主体にとって扱いやすい数字にすることを表す。なお、意味9は意味1からメタファーによって意味拡張が起きていると考えられる(詳細は後述)。

意味10:【心情の抑え】〈人が〉〈自分・他人の心情を〉〈コントロールし〉〈抑える〉

- (24) 涌井との待遇の差に不満を持ったとしても何ら不思議はないと思います。これまでの実績、防御率、勝敗、WHIPなど、どれをとっても成瀬=>涌井でしょう。それで給与面では明らかに開きがあるのですから、文句の一つもいいたくなるでしょう。プロに入って1億円選手になるくらいですから、そのくらいの意地とプライドは当然あるのではないのでしょうか？

涌井がFAで来なければ「ウチはそういうチームだから……でもお金に替えられないチームの良さもあるし……」と、自分の気持ちを丸めることも出来たでしょうけれど。  
( <https://buschiba.livedoor.blog/archives/52391764.html> )

- (25) そういう時は、考えないようにしようとする時点で考えちゃっているんで、とりあえ

ず置いといて、例えば寝転がって天井のシミを数えるとか壁の模様を端から端まで繋いでみるとか、ポーッとするんです。(中略)好きな漫画の世界に入ったり好きな俳優さんと偶然知り合って今度デートすることになった何着て行こうとか妄想したり。考えないようにしないじゃなくて嫌な考えを丸めていったん置いといて、楽しい妄想する。(https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\_detail/)

- (26) そんな時に明るく元気なムードメーカーがいると和やかな雰囲気になり、女性たちはもちろん、バッチェラー自身も救われる。たとえ女性らしさが欠けていたとしても、ムードメーカーは心のオアシスなのだ。また、序盤は女性同士の敵対意識ばかりが先立って仲間意識が芽生えていないため、女性たちの棘ついた心を丸めるマスコットキャラが欠かせない。(https://note.com/hagitaro1010/n/nb0f55f25b2f6)

意味1は、人が物などに対して物理的な力を加えることによって、円の形にすることを表すのに対して、意味10は、人が自分あるいは他人の心情をコントロールすることによって(つまり、抽象的な力を加えて)、自分自身あるいは他人の感情を抑えることを表す。なお、意味10は意味1からメタファーによって意味拡張が起きていると考えられる。

ここで、改めて意味1と意味8～10の関連性について検討する。すでに述べたように、意味8～10はいずれも意味1からメタファーによって意味拡張が成り立っていると指摘したが、意味1から意味8～10への意味拡張の背景には、人間は抽象概念を具体物に見立ててとらえることができるという認知能力、つまり概念メタファー (conceptual metaphor) が働いていると考えられる。なお、概念メタファーとは、Lakoff and Johnson (1980) によって提唱されたもので、「ある概念領域 (目標領域 (target domain)) を別の概念領域 (基点領域 (source domain)) と関連付けること (写像 (mapping)) によって理解する」という認知の仕組みのことである。なお、Lakoff and Johnson (1980) は、概念メタファーについて「構造のメタファー」 (structural metaphor) 「方向づけのメタファー」 (orientational metaphor) 「存在のメタファー」 (ontological metaphor) の3種類を提案しているが、ここでの意味拡張は「存在のメタファー」に基づくものであると考えられる<sup>14)</sup>。つまり、「言動・数字・心情は物体である」というように、抽象的で形のない言動や、数字、心情を形のある具体物と見なすことができるということであり、「丸める」に当てはめて言えば、「紙を丸める (意味1)」における紙に対して自由自在にコントロールし、形を変えて整えたりすることができるように、言動 (意味8) や、数字 (意味9)、心情 (意味10) に対しても同様なことができるということである。従って、意味1と意味8～10からは〈人がある対象をコントロールし、扱いやすい状態にする〉という共通点 (スキーマの意味・意味11) を導き出すことができ、メタファーによって意味拡張が成り立っていると考えられる。



### 3. 「丸い」との対応関係

本節では、形容詞「丸い」との意味の対応関係について検討する<sup>15)</sup>。

表2 「丸まる／丸める」と「丸い」の対応関係

意味分類	丸まる	丸める	丸い
【円形】	物：用紙、カーテン、両端、掛布団、電線、粘土、団子、餅 人（の身体部位）：背中、腰、体、爪、姿勢、手、指先 動植物（の部位）：尻尾、虫、幹、花びら、葉っぱ、キャベツ	物：新聞紙、カーペット、布団、表面、粘土、雪、団子 人（の身体部位）：背中、体、腰、指、手 動植物（の部位）：葉、尾、尻尾	○
【角がとれた状態】	角、エッジ、縁、鉛筆（の芯）、刃、刃先	角、先端、エッジ、爪、刃先	○
【剃髪】	×	頭、髪、髪の毛	×
【出家】	×	頭	×
【服従】	×	人、相手、部下、夫	×
【端数の切り上げ】	×	数値、数字、値、端数、小数	×
【心情の抑え】	×	気持ち、感情、考え	×
【温厚・円満な人柄】	×	×	人柄、人格、性格

まず、派生動詞「丸まる」と「丸める」が【円形】と【角がとれた状態】の意味で用いられる場合には形容詞「丸い」と対応関係にあることが分かる。ただし、「靴下、ティッシュ、アルミホイル」のように、そもそも「円形」の属性を想定しにくいものは「丸い」と共起できない場合もある。

また、「丸める」は【剃髪】【出家】【服従】【端数の切り上げ】【心情の抑え】という意味で用いられる場合があるが、「丸まる」と「丸い」にはこのような意味用法を持たない。このことから、一般的に「丸める」は形容詞「丸い」から派生した動詞とされているにもかかわらず、「丸い」にはない独自の意味用法を持っていることになる。

さらに、形容詞「丸い」には【温厚・円満な人柄】という意味で用いられる場合があるが、派生動詞「丸まる」と「丸める」にはこのような意味用法を持たない。これと関連して、Levin and Rappaport (1995: 96) によると、一般的に「一時的な特性」(stage-level property) を示す形容詞は動詞化するが、時間と共に変化しない「恒常的な特性（個体の特性）」(individual-level property) を示すものは動詞化されないと指摘している。例えば、smart という形容詞には、〈格好いい〉という一時的な特性と〈頭がいい〉という恒常的な特性の意味があるが、派生動詞 smarten は、基本的に〈格好良くする、なる〉という意味で使われる<sup>16)</sup>。このことは、日本語の動詞「丸める」にも当てはめて考えることができる。つまり、形容詞「丸い」が持つ【温厚・円満な人柄】という意味は、「恒常的な特性」として位置付けられるため、

派生動詞「丸める」はこのような意味を持たないと考えられる。

#### 4. おわりに

以上、本稿では形容詞派生動詞「丸まる」と「丸める」が持つ複数の意味を記述し、それら複数の意味の関連性（多義構造）について考察した。その結果、「丸まる」と「丸める」についてスキーマ的意味・フレームを含めて、それぞれ3と11の多義的別義を認定することができた。また、別義間の関連性については、比喩の観点から考察を行い、別義間の関連性を明らかにすることができた。さらに、2語の多義構造については、Langackerが提案している「スキーマティック・ネットワークモデル」(schematic-network model)と舩山が提案している「統合モデル」を援用して、詳細に検討した。

今後の課題として、「丸くなる」、「丸くする」などの関連語との比較分析を通じて、形容詞派生動詞の意味記述をさらに精緻化する必要がある。また、形容詞派生動詞の全体像を明らかにするためには自他交替に関する検討も欠かせない。いずれも今後の課題としたい。

附記：本研究は、JSPS 科研費 JP22K00586の助成を受けたものである。

#### 注

- 1) 詳細は後述するが、単義と多義の区別はあくまでも程度の問題であるため、その境界を明確にすることは困難である。
- 2) 1.1と1.2は、李 (2020, 2023) に基づくものである。
- 3) Tuggy (1993) にも同様の趣旨の主張が見られ、ambiguity (両義性)、polysemy (多義性)、vagueness (漠然性)の連続性を指摘している。なお、この3つはそれぞれ同音異義語、多義語、単義語に対応すると考えられている。
- 4) 大月 (1993) は、多義語の意味分析において「一つの語にいくつの意味を認めるか」「基本的意味 (始原的意味) の定義の問題」「始原的意味からの連想による派生」という手順を提案し、英語の色彩表現を取り上げて分析している。また、瀬戸 (2007) は、多義語を体系的に記述するために「中心義の設定」「各意義の認定」「各意義の関連」「各意義の配列」という4つの問題を設定し、主に英語の例を取り上げて検討している。
- 5) スキーマとは、すべてのカテゴリーの成員に共通する性質を抽出した意味とされ、いくつもの具体例を通じて、一般化、抽象化される。
- 6) 舩山 (2000, 2001, 2021) は、スキーマ関係は比喩の一種であるシネクドキーに相当し、拡張関係はメタファーに相当することを明らかにしている。
- 7) Lakoff (1987)、Evans and Green (2006)、Geeraerts (2010)、瀬戸 (2007) などを参照されたい。
- 8) Langacker (1987, 1990, 1999, 2008) などを参照されたい。
- 9) Fillmore (2003)、Evans and Green (2006)、Fillmore and Baker (2010)、松本 (2010) などを参照されたい。
- 10) 意味分析の方法に関する詳細は、李 (2020, 2023) を参照されたい。
- 11) 本稿では、意味1を「丸まる」のプロトタイプ的意味として考える。コーパス検索システム (NLT) を使って、「名詞が丸まる」の共起関係を調べたところ、ヒットした191件 (上位15位) のうち、意味1と

して用いられたものは、186件であった（意味2は、10位の5件のみ）。つまり、「頻度」という観点から見た場合、意味1をプロトタイプの意味として考えるのは妥当であろう。なお、プロトタイプの意味の認定の問題をめぐっては、様々な観点から考察がなされているが、一般的にプロトタイプの意味は、拡張した意味を理解する上での前提となり、具体性が高い、母語話者の頭の中で認知・想起されやすい、用法上の制約を受けにくいといった特徴を持つ（瀬戸（2007）、靱山（2021）など）。また、木下（2019: 521）は、プロトタイプの意味の認定に関する諸研究を踏まえ、プロトタイプの意味の認定の手続きについて、用法上の制約、頻度、想起テストなどの手法があげられるとしている。

- 12) 本稿では、意味1を「丸める」のプロトタイプの意味として考える。コーパス検索システム（NLT）を使って、「名詞を丸める」の共起関係を調べたところ、ヒットした1100件（上位15位）のうち、意味1として用いられたものは、982件であった（3位（75件）：頭を丸める、7位（43件）：角を丸める）。つまり、「頻度」という観点から見た場合、意味1をプロトタイプの意味として考えるのは妥当であろう。
- 13) 「頭を丸める」と言った場合は、（空間的に隣接している頭（頭皮）と髪という）空間的な隣接関係に基づくメトニミーが関わっている。
- 14) Lakoff and Johnson（1980: 25）によると、存在のメタファーは、人間の物理的な物体（特にわれわれの肉体）に関わる経験によって与えられるもので、出来事や活動、感情や考えを存在物（entities）や内容物（substances）としてとらえるメタファーとして規定される。
- 15) 形容詞の「名詞修飾用法」「叙述用法」などの形式的な違いに関する検討は今後の課題としたい。
- 16) 杉岡（2002）を参照。

## 参考文献

- 李澤熊（2020）『日本語の意味研究の新たな扉を開く—意味分析の方法と実際—』、開拓社。
- 李澤熊（2023）『現代日本語における意図性副詞の意味研究—認知意味論の観点から—』、ひつじ書房。
- 大月実（1993）「多義語の意味分析の方法について—英語の色彩表現を例に—」、『大東文化大学紀要 人文学』第31号、pp. 367-377、大東文化大学。
- 北原保雄（2011）『明鏡国語辞典』第3版、大修館書店。
- 木下りか（2019）「多義動詞の意味拡張の起点と直観的プロトタイプ」、『日本認知言語学会論文集』第19巻、pp. 519-524、日本認知言語学会。
- 国広哲弥（1982）『意味論の方法』、大修館書店。
- 新村出（編）（2008）『広辞苑』第6版、岩波書店。
- 杉岡洋子（2002）「形容詞から派生する動詞の自他交替をめぐって」、『文法理論：レキシコンと統語』、pp. 91-116、東京大学出版会。
- 瀬戸賢一（2007）「メタファーと多義語の記述」、楠見孝（編）『メタファー研究の最前線』、pp. 31-61、ひつじ書房。
- 松村明（編）（2006）『大辞林』第3版、三省堂。
- 松村明（監修）（2012）『大辞泉』第2版、小学館。
- 松本曜（2010）「多義性とカテゴリー構造」、澤田治美（編）『語・文と文法カテゴリーの意味』（ひつじ意味論講座1）、pp. 23-43、ひつじ書房。
- 靱山洋介（2001）「多義語の複数の意味を統括するモデルと比喻」、『認知言語学論考』No. 1、pp. 29-58、ひつじ書房。
- 靱山洋介（2002）『認知意味論のしくみ』（シリーズ・日本語のしくみを探る）、研究社。
- 靱山洋介（2010）『認知言語学入門』、研究社。
- 靱山洋介（2016）「多義語の多様性：典型的な多義語と単義語寄りの多義語」、『日本認知言語学会論文集』第16巻、pp. 512-517、日本認知言語学会。
- 靱山洋介（2019）「多義語分析の課題と方法」、プラシヤント・バルデシ・靱山洋介・砂川有里子・今井新悟・今村泰也（編）『多義動詞分析の新展開と日本語教育への応用』、pp. 32-50、開拓社。

- 舩山洋介 (2020) 『実例で学ぶ 認知意味論』, 研究社.  
 舩山洋介 (2021) 『[例解] 日本語の多義語研究—認知言語学の観点から—』, 大修館書店.  
 舩山洋介・深田智 (2003) 「第3章 意味の拡張」, 松本曜(編) 『認知意味論』(シリーズ認知言語学入門第3巻), pp. 73-134, 大修館書店.  
 森田良行 (1989) 『基礎日本語辞典』, 角川書店.  
 山田忠雄・柴田武・酒井憲二・倉持保男・山田明雄・上野善道・井島正博・笹原宏之(編) (2012) 『新明解国語辞典』第7版, 三省堂.  
 Evans, V. and M. Green (2006) *Cognitive Linguistics: An Introduction*. Edinburgh: Edinburgh University Press.  
 Fillmore, C. J. (2003) “Topics in Lexical Semantics.” *Form and Meaning in Language*. Stanford: CSLI Publications. pp. 201-260.  
 Fillmore, C. J. and C. Baker (2010) “A Frames Approach to Semantic Analysis.” In Heine, B. and H. Narrog (eds.) *The Oxford Handbook of Linguistic Analysis*. Oxford: Oxford University Press. pp. 313-339.  
 Geeraerts, D. (2010) *Theories of Lexical Semantics*. Oxford: Oxford University Press.  
 Lakoff, G. (1987) *Women, Fire, and Dangerous Things*. Chicago: The University of Chicago Press. (池上嘉彦・河上誓作他訳 (1993) 『認知意味論』, 紀伊國屋書店.)  
 Lakoff, G. and M. Johnson (1980) *Metaphors We Live By*. Chicago: The University of Chicago Press. (渡部昇一・楠瀬淳三・下谷和幸訳 (1986) 『レトリックと人生』, 大修館書店.)  
 Langacker, R. W. (1987) *Foundations of Cognitive Grammar* (Vol. 1). *Theoretical Prerequisites*. Stanford: Stanford University Press.  
 Langacker, R. W. (1990) *Concept, Image, and Symbol: The Cognitive Basis of Grammar*. Berlin: Mouton de Gruyter.  
 Langacker, R. W. (1999) *Grammar and Conceptualization*. Berlin: Mouton de Gruyter.  
 Langacker, R. W. (2008) *Cognitive Grammar: A Basic Introduction*. Oxford: Oxford University Press. (山梨正明監訳 (2011) 『認知文法論序説』, 研究社.)  
 Levin, B. and M. Rappaport Hovav (1995) *Unaccusativity: At the Syntax-Lexical Semantics Interface*. MIT Press.  
 Tuggy, D. (1993) “Ambiguity, Polysemy, and Vagueness.” *Cognitive linguistics* 4 (3): pp. 273-290.

キーワード：形容詞派生動詞、認知言語学、多義語、多義構造、概念メタファー

**Abstract**

The Polysemic Structure of *marumaruru* and *marumeru*:  
From the Viewpoint of Cognitive Linguistics

LEE Tackung

This text described the multiple meanings of deadjectival verbs *marumaruru* and *marumeru* in addition to discussing the relation between these multiple meanings (the polysemic structure). Resultantly, it was acknowledged that there were three different meanings acknowledged for *marumaruru* and eleven for *marumeru*.

Furthermore, since these two verbs are a corresponding transitive/intransitive verb pair, the corresponding relationship between the different meanings of the verbs was also examined. The results of this examination clarified that the meanings of these words do not correspond to each other.

Moreover, the relation between the different meanings was considered by looking at the three types of symbolic language, metaphor, synecdoche and metonymy, and it was thus possible to clarify the relation among the different meanings.

Keywords: deadjectival verb, cognitive linguistics, polysemic word, polysemic structure, conceptual metaphor